

「……こんな非効率的な行為が本当に必要なことか？理解できないな……
まあ……命令なら従うけど……」



「指揮官は人形にこんなことを
やらされた方でよかったね？
がっかりしたか？
そうですかね。どう思いますか？」

んんん♡

んんん♡

んんん♡

「あ……うん！い……これは……
こんなことに何の意味があるんだ!？」

んん

んん

「はっ……ムダに体力だけ……浪費して……
変な……気持ち……うー……!!」

んんん♡
んん♡



『今の姿…はたして、指揮官が私たちをオナホールで書いたのでしょうか。私たちが指揮官を生体のデイルドで使ったんでしようか。フフツツ…♡』

『ハア…♡ハア…指揮官ったら…
いくら人形相手でもこんなに中にいっぱい。』

※







